



居場所について

先月よりコロナウイルスの感染拡大が増え、長崎県ではまん延防止措置が発令されているため、今月の13日まで居場所を閉所致します。

尚、青年期は2/14(月)から、学童期は2/15(火)から再開します。

一刻も早くコロナウイルスの終息を願いたいものです。

ふきのとうのイベントなどの情報はふきのとうのホームページの月間スケジュールやブログにも掲載していきますので楽しみにしていてね!



居場所だよいの通信代、節約にご協力を!!

只今、居場所便りを郵送で送っていますが、経費節減のために、メールで送信を致したいと思えます。

メリットとして、家族には見られたくない方たちです。メールにすると本人のところへ届きます。但し、自分のメールアドレスを持っている人に限ります。また、このメールはショートメールは届きません。スマホメール(フリーメール)、PCメールに限ります。

みなさんは、スマホを持っている人もいるのではと思い、その方たちはメールに切り替えたいと思えます。

メールで送って欲しい人は、一度、ふきのとうへ空メールを送ってください。メールアドレスの間違いを防ぐ為です。

ふきのとうのメールアドレスは、封筒の表の下に掲載しています。

また、メールアドレスを持ってない人は、今まで通り郵送致します。

ご協力の程、よろしくお願い致します。



フリースペースふきのとうでは、ポストカードにする絵を募集しています。

今まで描き溜めた絵やこれから描く絵、写真もOKです。

出来たポストカードはイベント出店で販売することも出来ます。売り上げの80%は作者にお返しします。

詳しくは、フリースペースふきのとうまでご連絡ください。

尚、ハガキの台紙はふきのとうで準備しています。

他にも手作り雑貨やアクセサリなど販売したい方も商品と共に募集しています。

是非、フリースペースふきのとうまでご連絡ください。お待ちしております。

おねがい

※手作り雑貨を作成する人へお願い

イベント出店などでは、キャラクターを素材にしたものは販売できませんので、ご注意ください。

例:スヌーピーやキティちゃんなどの入った布などです。

ご協力のほど、よろしくお願い致します。



月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11 建国記念の日	12	13
14	15 学習サポート 「数学」 14:30~15:30	16	17	18	19	20
21	22 学習サポート 「数学」 14:30~15:30	23 天皇誕生日	24	25	26	27
28						

- ◆開所日は、火・土曜日13:00~17:00までですが、祝日、年末年始、お盆はお休みです。また、自然災害(台風、雪、地震など)で学校が休校の場合も居場所はお休みします。
- ◆学習サポート「数学」 担当:永富光朗先生 数学パズルなどを利用して、遊びながら学べます。
- ◆英会話 担当:池田和博先生(ぽこ・あ・ぽこの家主さん)
持ってくるもの:NHKテキストブック「英語Ⅰ」(書店で買って持って来てね!)、筆記用具
学習内容:NHKテキストブック「英語Ⅰ」を教材にして学習します。また、簡単な英会話やみんながなじみのある英語の歌などを楽しく学びます。時々、外国の方が来
- ◆毎週土曜日は英会話が終わった後、ギター教室もしています。担当:池田和博先生
※英会話とギター教室は、担当の池田和博先生が体調を崩されており、只今、お休みしております。体調が戻れば、再開致します。
- ◆コロナ感染予防のため、居場所を利用する時は、来る前に検温と水筒持参、マスク着用をして来てくださいね。



ぽれぽれ(青年期)

月・火・金(祝日、年末年始、お盆お休み) 10:00~16:00
木 8:00~14:00

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
73 事務局代 休	8	9	10	11 建国記念 の日	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23 天皇誕生 日	24	25	26	27
28						

◆学習サポート「英語」 担当:田向弘文先生

只今、学習サポート「英語」は、希望する子どもがないので、お休みしています。また、希望する子どもが出たら、再開致します。

◆学習サポート「発達障がい」・小学生 担当:只今、担当される先生を探しております。決まり次第、再開します。

◆開所日は、月・火・金曜日の10時~16時と木曜日の8時~14時までですが、急な用事や出張などで出かけることがあります。ご用の時は事前にご連絡ください。

また、自然災害(台風、雪、地震など)で学校が休校の場合も居場所はお休みします。

上記の他に、フリースペースふきのとう主催の行事の翌日の場合も居場所兼事務所はお休みします。

◆コロナ感染予防のため、居場所を利用する時は、来る前に検温と水筒持参、マスク着用をして来てくださいね。

◆ぽれぽれは、佐世保市より委託を受けて実施している事業です。今、社会では新型コロナウイルスの感染状況によってレベルが設けられています。レベル4になった場合は、市の要請によりお休みするようになって言われていますので、佐世保市のホームページにて掲載してありますので、そちらでご確認をお願いします。また、ふきのとうのホームページのブログでもお知らせ致します。



立春

節分の日から、一晩あけると立春の日を迎えます。立春は、暦の上で春を迎えた日にあたるわけですが、まだまだ寒いのに「春」って思ったりしていませんか？そこで今回は、立春とはどのような日なのかをご紹介します。

《立春とはどんな日？》

二十四節気の一つであり、地球が公転軌道上で太陽黄経315°に来た瞬間の日付をもって立春が定められています。二十四節気と言えば、冬至と春分のちょうど中間にあたる日です。また、立春から次の節気である雨水の前日（2月4日頃～19日頃）までの期間を指して立春と呼ぶこともあります。暦では、この日から立夏の前日までの期間が「春」となるため、立春を一言で表すと、**春の初日**と言うことになります。更に、旧暦の頃は、**立春の日が1年の始まり**と考えられていました。正月が1年の始まりとされている現在ですが、節分の日が立春の前日、八十八夜は立春から数えて88日目、二百十日・二百二十日は立春から数えてそれぞれ210日目と220日目と言うように、**立春の日を基準とした節目の日**は、今も存在し続けています。

《立春の日は元々寒かった?!》

立春から春が始まるって言うけどまだまだ寒いし、旧暦から、季節がずれているんじゃない？でも、**立春の日**は、今も昔も寒い日なんです。ひな祭りや七夕など、**太陽暦**に基づいた行事は、旧暦と新暦で**季節のずれ**が生じます。ところが、立春は**太陽の運行**に基づいて決められた日ですので、季節のずれは生じません。春が立つと書いて、立春です。「立」と言う漢字には、**これから動き始める**という意味があります。このことからしても、立春は春が動き始める日であり、これから暖かくなっていく節目の日と言うことができるのではないのでしょうか。ちなみに、立春から春分までの間に、はじめて貰った南よりの強い風は「春一番」と呼ばれ、これもまた春の訪れを感じさせる風物詩となっています。

《立春の日！2022年はいつ？》

2022年の立春の日は、**2月4日**です！！2021年は2月3日が立春の日でしたが、2022年は1日遅くなりました。つまり、毎年同じではないと言うことです。過去には、2月5日と言う年もありました。日付が動くのは、4年に1度うるう年があることと同様の理由によるものです。

《年内立春と新年立春》

旧暦の頃は、**正月の前に立春を迎える**ことがありました。このことを、**年内立春**と言います。逆に、**正月を迎えた後に立春が来る場合を新年立春**と言います。もちろん、旧暦1月1日＝立春ではなかったわけですが、まれに（約30年に1回）**重なる年**があります。この場合は、特に**朔旦立春**（さくたんりっしゅん）（立春正月）と呼ばれ、**非常に縁起の良い日**とされています。近年では、1992（平成4）年が朔旦立春でした。次に朔旦立春が訪れるのは、2038年と予測されています。

《立春大吉のお札の役割は？》

変わりますが、立春の日になると「**立春大吉**」と書かれたお札が貼ってあるのを見かけたことはありませんか？立春大吉は**厄除けのお札**で、禅宗のお寺様の習慣からきているものです。お札には、**縦書きで立春大吉**と書かれています。この4つの文字の中心に線を引いてみてください。（イメージで）4つの文字すべてが、**左右対称**であることがわかるかと思います。それに、表から見ても、裏から見ても、立春大吉と読むことができます。立春は節分の次の日であることからなのではないでしょうか、立春大吉のお札にはこんな話が伝えられています。「鬼が、玄関に立春大吉のお札が貼ってある家に入りました。ふと振り返ると、同じように立春大吉と書いてあるお札が目にとまります。（裏から見ている）鬼は、この家にはまだ入っていませんでした」というわけで、立春大吉のお札を貼っていると、1年間を**平穩無事**に過ごすことができると言われています。このお札を手作りする方もいらっしゃるようですが、**出雲大社相模分嗣**では、郵送で届けてくださいます。どうやって作るの？と悩んでしまうかは、神社のありがたいお札を手に入れる方法もあり！ではないでしょうか。

立春が過ぎると、南の地方では梅が咲き始めたりもしますが、北の地方は冬の真っ只中！あと1～2ヶ月の辛抱だ！と、雪と格闘している時期もあります。いずれにせよ、春は待ち遠しいものです。